

## 農薬の登録等に係る農林水産大臣からの諮問について（報告）

農林水産大臣は、農薬取締法（昭和23年法律第82号）第39条第1項の規定に基づき、農薬の登録、変更の登録、再評価等について農業資材審議会の意見を聴かなければならないとされている。

今般、5-ニトログアイアコール・o-ニトロフェノール・p-ニトロフェノールを有効成分として含む農薬の登録、アシベンゾラルS-メチル及びジクロルプロップを有効成分として含む農薬の変更の登録、オキサミルを有効成分として含む農薬の再評価について、農林水産大臣から諮問を受けた。各農薬の概要は、別添に記載のとおりである。

「農薬の登録、変更登録等に係る農業資材審議会の審議の進め方」（平成30年9月14日農業資材審議会農薬分科会決定（最終改正：令和4年6月22日））に基づき、それぞれの農薬について、下記のとおり、部会において専門的な検討を行うこととする。

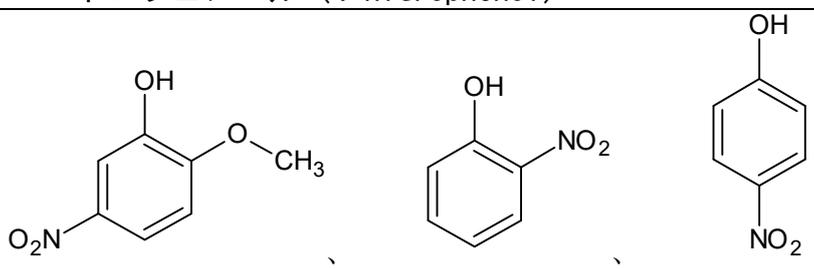
有効成分名	諮問理由	審議いただく部会
5-ニトログアイアコール・o-ニトロフェノール・p-ニトロフェノール	登録	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会
アシベンゾラルS-メチル	変更の登録	農薬原体部会
ジクロルプロップ	変更の登録	農薬原体部会
オキサミル	再評価	農薬原体部会 農薬使用者安全評価部会 農薬蜜蜂影響評価部会

## 5-ニトログアイアコール・*o*-ニトロフェノール・*p*-ニトロフェノール

### 1. 今回の諮問の経緯

令和6年11月29日に、申請者から提出された農薬取締法第3条第1項に基づく登録の申請を受理

### 2. 審議農薬の概要

名称	5-ニトログアイアコール (5-nitroguaiacol)、 <i>o</i> -ニトロフェノール (2-nitrophenol)、 <i>p</i> -ニトロフェノール (4-nitrophenol)	
構造式		
用途	植物成長調整剤	
作用機作	植物の細胞に影響し、生育促進、品質向上をもたらす効果があり、芝の生育に有効であることが確認された。植物ホルモン（オーキシシン、サイトカイニン、ジベレリン、アブシシン酸及びエチレン）のいずれとも異なる作用機作を有すると考えられている。	
登録状況	初回登録年	新規申請
	申請農薬数	2（別紙1）
	適用作物	芝
	使用方法	散布
海外状況	JMPR	評価なし
	米国	登録あり
	欧州	登録あり

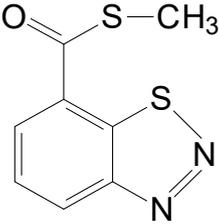
JMPR : FAO/WHO 合同残留農薬専門家会合

# アシベンゾラルS-メチル

## 1. 今回の諮問の経緯

令和7年4月24日に、申請者から提出された農薬取締法第7条第1項に基づく変更の登録の申請（同法第3条第2項第11号に掲げる事項の変更）を受理

## 2. 審議農薬の概要

名称	アシベンゾラルS-メチル (acibenzolar-S-methyl)	
構造式		
用途	殺菌剤	
作用機作	<p>アシベンゾラルS-メチルはベンゾチアジアゾール系の殺菌剤で、植物の全身獲得抵抗性を誘導して、病原菌による発病を抑制する効果を示すと考えられている。</p> <p>(FRAC 分類 : P01)</p>	
登録状況	初回登録年	2018年
	申請農薬数	1 (別紙2)
	適用作物	野菜類
	使用方法	灌注
海外状況	JMPR	評価あり
	米国	登録あり
	欧州	登録なし

FRAC : 殺菌剤抵抗性対策委員会

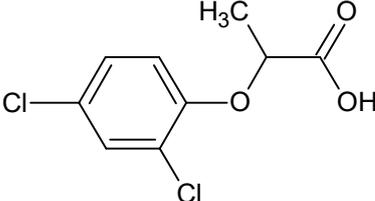
JMPR : FAO/WHO 合同残留農薬専門家会合

# ジクロルプロップ

## 1. 今回の諮問の経緯

令和7年8月4日に、申請者から提出された農薬取締法第7条第1項に基づく変更の登録の申請（同法第3条第2項第11号に掲げる事項の変更）を受理

## 2. 審議農薬の概要

名称	ジクロルプロップ (dichlorprop)	
構造式		
用途	植物成長調整剤	
作用機作	ジクロルプロップはクロロフェノキシ系の植物成長調整剤であり、オーキシシン活性によって植物のエチレン生成抑制及びセルラーゼ活性を抑制し、果実の離層形成を遅らせることにより植物成長調整効果を示すと考えられている。	
登録状況	初回登録年	1982年
	申請農薬数	1（別紙3）
	適用作物	りんご、なし
	使用方法	立木全面散布
海外状況	JMPR	評価あり
	米国	登録なし
	欧州	登録なし

HRAC：除草剤抵抗性対策委員会

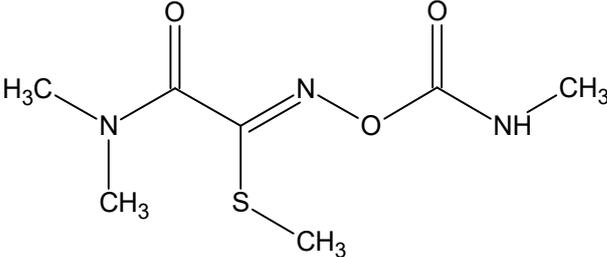
JMPR：FAO/WHO 合同残留農薬専門家会合

# オキサミル

## 1. 今回の諮問の経緯

令和6年12月18日に、再評価を受けるべき者から提出された農薬取締法第8条第3項に基づく試験成績等を受理

## 2. 審議農薬の概要

名称	オキサミル (oxamyl)	
構造式		
用途	殺虫剤	
作用機作	<p>オキサミルはカーバメート系の殺虫・殺線虫剤であり、コリンエステラーゼ活性阻害による神経伝達阻害により殺虫活性を有する。</p> <p>(IRAC 分類 : 1A)</p>	
登録状況	初回登録年	1981年
	申請農薬数	3 (別紙4)
	適用作物	野菜類、たばこ
	使用方法	全面土壌混和、株元処理等
海外状況	JMPR	評価あり
	米国	登録あり
	欧州	登録なし

IRAC : 殺虫剤抵抗性対策委員会

JMPR : FAO/WHO 合同残留農薬専門家会合

5-ニトログアイアコール・*o*-ニトロフェノール・*p*-ニトロフェノールを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
—	OATアトニック
—	ACアトニック

## アシベンゾラルSーメチルを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
24162	アクティガード顆粒水和剤

## ジクロルプロップを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
15109	ストッポール液剤

## オキサミルを有効成分として含む農薬一覧

登録番号	農薬の名称
19456	バイデートL粒剤
19457	バイデートL粒剤
23665	バイデートMK